



Q:「シエーグレン症候群」とはどんな病気ですか。

A:「シエーグレン症候群」とは、涙や唾液を分泌している涙腺や唾液腺などの外分泌腺が慢性的な炎症によって壊され、分泌障害を生じる原因不明の自己免疫疾患です。主な症状はドライアイとドライマウスですが、病気であるという認識のない方も多いようです。

ドライアイとしては、目の乾燥感、目がゴロゴロする、まぶしく感じるなどがあり、乾燥がひどくなると角膜に傷がついて乾燥性角結膜炎などが起こります。ドライマウスとしては、口腔の乾燥感、ク

ラッカーなどバサバサしたものが食べにくい、水がないと食事ができないなどがあり、唾液が少なくなるため、虫歯になりやすくなります。このほか、気道や膈の乾燥症を訴えることもあります。女性に多く、好発年齢は40〜50歳代です。

シエーグレン症候群には単独で発症する一次性と、他の自己免疫疾患に合併する二次



性があり、関節リウマチや全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎などと合併することが多く注意が必要です。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801